

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

第12期決算説明会資料

JASDAQ

Listed Company 3390



Universal
Solution Systems

社会にとって真に価値あるソリューションを

<http://www.u-s-systems.co.jp>

12期業績

(単位:千円)

	平成20年3月期通期 (期初予想)	平成20年3月期通期 (実績)	対期初予想 増減率
売上高	3,186,630	2,309,607	▲27.5%
ASP	2,217,680	1,249,585	▲43.7%
eコマース	968,950	1,060,021	9.4%
売上総利益	1,014,340	285,626	▲71.8%
ASP	902,160	199,094	▲77.9%
eコマース	112,180	86,531	▲22.9%
販売費及び一般管理費	926,558	784,680	▲15.3%
営業利益	87,782	▲499,053	—
経常利益	80,928	▲506,398	—
純利益	77,528	▲622,857	—

前期より継続しているマイナス基調から脱却すべく主力のソリューションシステムアウトソーシング事業での新規顧客獲得、新事業分野の介護ソリューション事業の拡大、セキュリティ関連事業の基盤構築、既存のeコマース事業の新商材投入による売上拡大に努力して参りました。その結果四半期を重ねるごとに売上は伸長してまいりましたが、その結果は微増にとどまり前年実績に及びませんでした。



12期業績結果の理由

主力のASP事業の営業不振

ソリューション
アウトソーシング関連事業

- ・新施策による顧客開拓の不調
→IBMとのタイアップで開発した「APOS」投入による
新規顧客開拓が計画通り進まず。

介護関連事業

- ・販売体制構築の遅れにより
売上目標未達

しかしながら

パラマウントベッド社
との提携等により
今後の販売拡大

セキュリティ関連事業

- ・セグメント別ニーズの
発掘が思うように進まず

11期

約1,265百万



12期

約1,249百万

その他要因として

パートナー企業の業績
および財政状態の勘案

→1億9百万円を
特別損失に計上

長期延滞債権の
担保価値見直し

→27百万円を
貸倒引当金に計上

ソフトウェア販売方法の
見直し

→43百万円を
追加で費用計上



12期業績 (B/S・キャッシュフロー)

●B/Sのサマリー

	19/3	20/3	増減
流動資産	1,037,083	575,109	-461,973
固定資産	950,185	771,253	-178,931
繰延資産	2,654	360	-2,294
資産合計	1,989,922	1,346,722	-643,200
流動負債	423,673	630,973	207,300
固定負債	279,682	52,040	-227,642
負債合計	703,355	683,013	-20,342
純資産	1,286,566	663,709	-622,857

●キャッシュフローのサマリー

(単位:千円)

	19/3	20/3	増減
営業 C F	138,730	-163,674	-302,404
投資 C F	-267,722	-184,143	83,578
財務 C F	-125,208	-40,734	84,474
資金増減額	-254,201	-388,525	-134,324
期首資金残高	892,602	638,401	-254,201
期末資金残高	638,401	249,876	-388,525

- 固定資産の減少は主として、投資有価証券の株式評価損によるもの。
- 流動負債増加及び、固定負債の減少は主として償還期間が1年以内になった社債の振替によるもの。
- 財務キャッシュフローの増加は、主に短期借入金の収入によるもの。

第13期の戦略

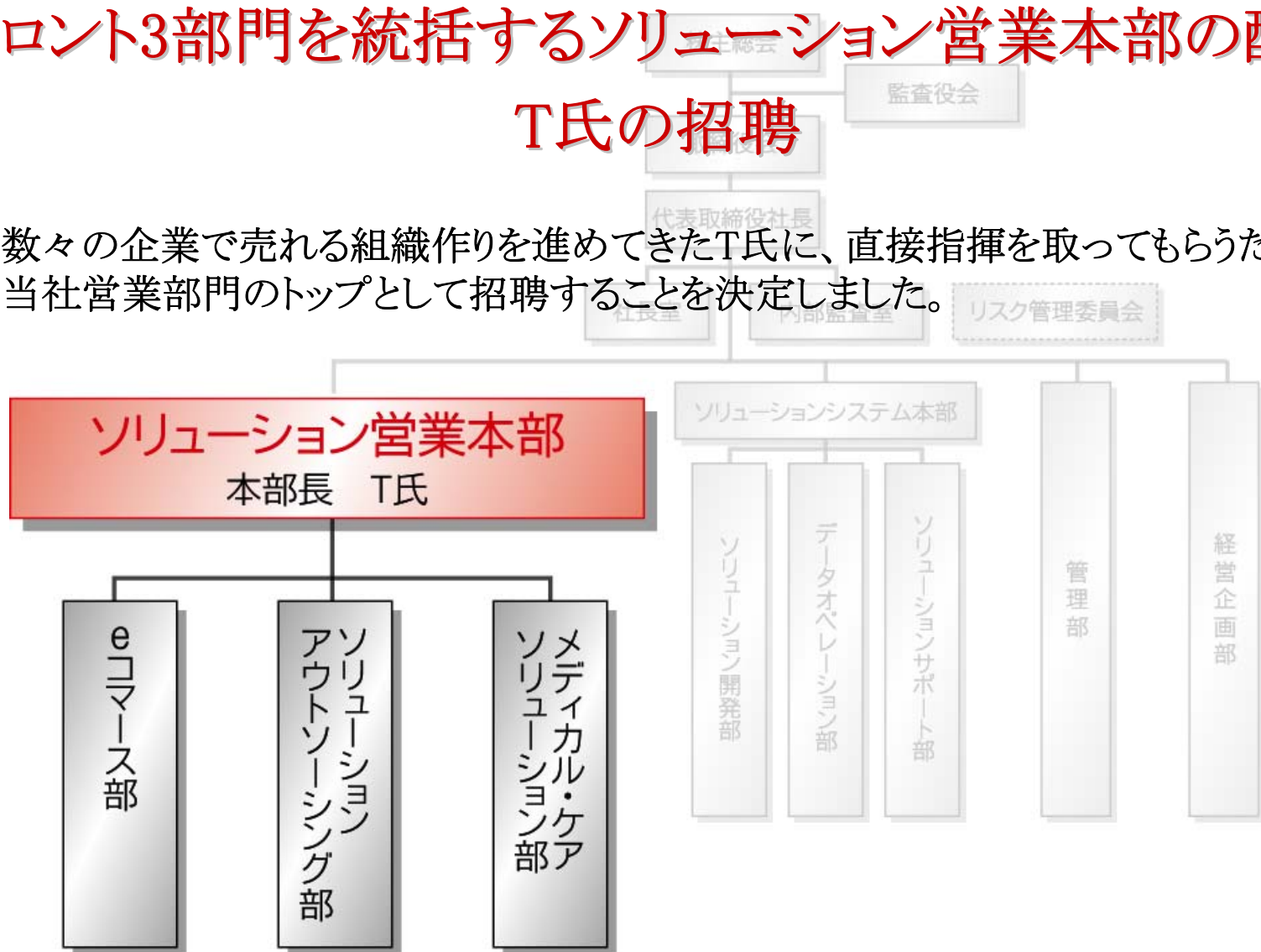
①ASP事業における営業力の強化

②メディカル・ケアソリューション販路の拡充

強力な営業体制の構築

フロント3部門を統括するソリューション営業本部の配置 T氏の招聘

数々の企業で売れる組織作りを進めてきたT氏に、直接指揮を取ってもらうため、当社営業部門のトップとして招聘することを決定しました。

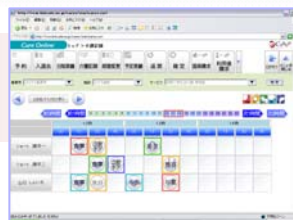


メディカル・ケアソリューション販路の拡充-1

資料:介護市場規模

CareOnlineの市場規模予測

サービス事業所と要介護人口の推移をもとにした市場規模



市場規模算出＝事業所数×月額×12ヶ月
【施設型】月額費用4万円（初期費用40万円）
【訪問型】月額費用2万円（初期費用20万円）

	2008年	2009年	2010年
市場規模(月額ベース)	573億8千万円	652億7千万円	750億3千万円
施設型事業所数(推計値)	39,921事業所	46,903事業所	56,118事業所
訪問型事業所数(推計値)	159,280事業所	178,167事業所	200,421事業所
要介護者人口(推計値)	4,900,000人	5,000,000人	5,100,000人

推計値は東京大学公共政策大学院のレポートより

2010年市場規模
【初期ベース】625億3千万円
【月額ベース】750億3千万円
合計
1375億6千万円



介護市場向け携帯端末の需要予測

ホームヘルパー人口をもとにした介護用携帯端末需要

	2008年	2009年	2010年
市場規模(端末台数ベース)	13万台	13万5千台	14万2千台
ホームヘルパー人口(推計値)	130,000人	135,000人	142,000人
要介護者人口をもとにした 必要ホームヘルパー人口※	261,333人	266,667人	272,000人

推計値は東京大学公共政策大学院のレポートより ※要介護者の80%が訪問型を利用、ヘルパー1人あたりの要介護者15人と想定

2010年市場規模
14万2千台
?
27万2千台



パラマウントベッド社とのアライアンスの推進 その他強力な販売パートナーとの提携



この2社とのアライアンスにより、市場シェアの獲得を目指します

市場内比率参考
法人本部、事業所ともに
関東圏のケース
【全法人数】
5034法人
【5事業所以上運営の法人数】
2237法人

メディカル・ケアソリューション販路の拡充-3

2008年に入って案件数急増

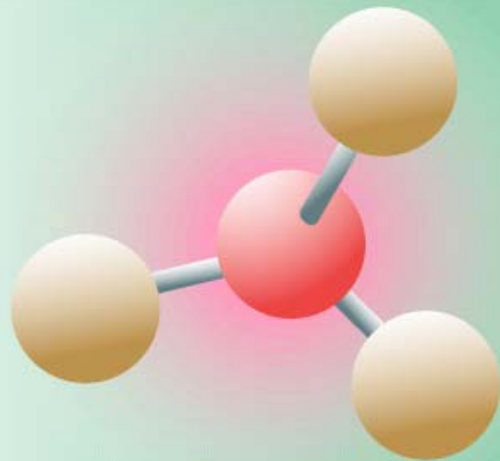
アプローチ状況

N社様	保有施設数	262	M社様	保有施設数	153	S社様	保有施設数	97	F社様	保有施設数	92
S社様	保有施設数	27	A社様	保有施設数	26	S社様	保有施設数	16	T社様	保有施設数	15
H社様	保有施設数	7	Y社様	保有施設数	7	I社様	保有施設数	7	D社様	保有施設数	7
T社様	保有施設数	6	M社様	保有施設数	5	A社様	保有施設数	5	H社様	保有施設数	5
S社様	保有施設数	5	M社様	保有施設数	4	K社様	保有施設数	4	K社様	保有施設数	4
K社様	保有施設数	4	E社様	保有施設数	4	P社様	保有施設数	3	T社様	保有施設数	3
B社様	保有施設数	3	J社様	保有施設数	3	N社様	保有施設数	3	M社様	保有施設数	3
S社様	保有施設数	3	A社様	保有施設数	3	M社様	保有施設数	3	T社様	保有施設数	2
F社様	保有施設数	2	T社様	保有施設数	2	A社様	保有施設数	1	E社様	保有施設数	1
K社様	保有施設数	1									



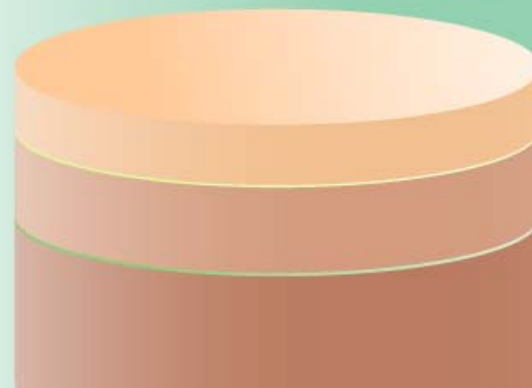
第13期 戦略

介護ソリューション事業



提携等による売り上げ拡大

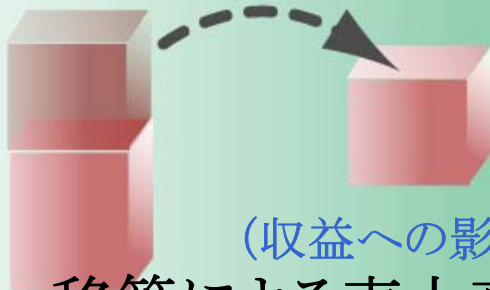
ソリューションシステム アウトソーシング事業



受注回復

これら3つにより

eコマース事業



(収益への影響は軽微)

移管による売上高の減少

全体的には大幅に
収益が改善

第13期業績見通し

(単位:千円)

	平成21年3月期上期 (予想)	平成21年3月期下期 (予想)	平成21年3月期通期 (予想)
売上高	1,165,663	1,301,490	2,467,153
ASP	900,163	1,019,390	1,919,553
eコマース	265,500	282,100	547,600
売上総利益	414,812	525,564	940,376
ASP	373,974	485,341	859,315
eコマース	40,838	40,223	81,061
販売費及び一般管理費	395,224	394,857	790,081
営業利益	19,588	130,708	150,296
経常利益	13,988	124,108	138,096
純利益	12,288	122,408	134,696

主力のASP事業においては、平成20年3月に発表した介護ソリューション事業での提携等による売上拡大が順調に推移しており、さらにはソリューションシステムアウトソーシング事業についても受注が大幅に回復してきていることから、売上、利益とも大幅に事業状況が改善する見込みです。また、eコマース事業に関しては、さらに事業の移管を進め売上高を減少させる予定です。しかしながらこれによる収益への影響は軽微であり、全社的には大幅に収益が改善する見込みです。



参考資料

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社 沿革

「CareOnline」

- 特徴
- 導入効果・メリット
- 事業展開ビジョン
- 介護記録画面イメージ

プロフィール



創設者
代表取締役社長

山口 浩行
ヤマグチ ヒロユキ

昭和40年(巳年)生まれ 42歳



共同創設者
取締役
ソリューションシステム本部長
兼 ソリューション開発部長

Sheng Xu
シェン シュ

昭和43年生まれ 39歳

1

—そもそもの始まり—

約10年前、某企業において山口とShengの二人で作ったものが先進的なオープンシステムとして世間の話題になる。二人で将来、事業を興そうと決意する。

2

—テーマは社会貢献、医療介護分野の世界—

事業を興すにあたって、何か社会に貢献したという実感が欲しい。
山口の構想力とShengの開発力は医療介護の分野に貢献できるのではないか。
日本の医療・介護レベル向上に貢献したい。

3

—国内で事業基盤を構築、上場—

いきなり医療分野に飛び込むのは、事業採算性の問題と、安全性(停止しないシステムが必須)の構築から難しい。そこで多店舗展開している外食産業にフォーカスし、事業展開することで事業基盤構築に成功。
また、医療介護システムに必須であるセキュリティ技術を発明。
構築した事業基盤をベースにJASDAQに上場。

4

—介護分野に進出—

事業基盤が構築でき、システムの安全性も確立できたので、医療との関連の深い介護業界にサービス提供開始。介護レベルを向上するためのシステムというコンセプトから生まれた、「Care Online」が高い評価を受ける。

5

—介護をベースに医療へ—

介護の分野で高い評価を受けているソリューションをベースに今後の日本の介護レベル、医療レベル向上に貢献する事業の構築を目指します。

NEXT

人と社会のために、医療の世界に理想のITイノベーションを。

福祉ソリューション主力プロダクト「CareOnline」の特徴

1

介護業界初 ワンストップASPサービスで提供(SaaS) 《画期的な提供方式》

(相談業務～)ケアプラン作成・連動～提供表・利用表～介護記録入力～予定実績連動～国保・利用者請求～返戻～入金処理・確定まで網羅ハードウェア投資やシステム維持費用などを抑えられるほか、迅速な法改正対応など様々なメリットがあります。従来のレセプトのみの機能だけではなく、介護記録機能やナビゲーション機能を備えた画期的な介護システムです。

2

介護業務の50%以上といわれる事務作業を大幅合理化 《記録と請求の連動》

介護業界では紙ベースの事務作業が非常に多く、二重三重入力が当たり前の現状があります。CareOnlineでは一度入力した情報を有効活用して二重入力を極力抑えているので事務作業が大幅に合理化できます。ケアスタッフの事務作業軽減を軽減し、本来の介護サービスに注力できます。

3

返戻率の飛躍的極小化 《ケアプラン連携》《居宅と事業者の連動》《事業者間連携》

居宅介護支援事業所とサービス事業所の相互データ連携により、返戻率を飛躍的に極小化できます。

4

介護スタッフレベルの向上 《教育ツール・スキルアップシステム》

従来の介護システムにはない「スタッフ教育」という観点から、介護ナビゲーション機能を実装しています。一般的な介護ノウハウから利用者個々人の注意点などもCareOnlineから参照することができます。



5

ユーザビリティ 誰でも簡単に介護記録が残せる 《介護記録を活用できる》

画面を触るだけで操作ができるタッチパネルモニターや、レストランのオーダーに利用されているハンディ端末を利用して、PCが苦手なスタッフでも簡単に介護記録が残せます。極力キーボードを使わない選択式の介護記録なのでタイピングが苦手なスタッフでも短時間で入力ができます。

6

IT投資削減(TCO削減) 《ASPのメリット》《無駄なハードが不要》《データバックアップ不要》

施設ごとにサーバを必要とする従来のシステム提供方式と違い、サーバを必要としないのでハードウェア投資を大幅に抑えることができます。また、施設側での日々のデータバックアップやメンテナンスなどが一切必要ないのでシステム運営・維持費用も大幅に削減可能です。

7

多拠点展開に最適 《U.S.SYSTEMSのノウハウを活用》

インターネットを利用したASPサービスなので、多拠点展開に非常に適しています。外食・中古品販売など多様な業種業態でシステムを提供してきたノウハウを生かし、情報一元管理により多拠点展開をサポート致します。

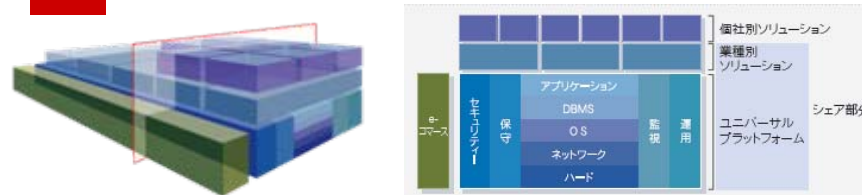
導入効果・メリット

現場の業務効率化

- 1 介護書類の作成が簡単**
 介護記録をもとにして介護記録帳票や業務日誌などの書類の作成が簡単に行えます。また、レセプト請求との連動も可能です。
- 2 介護記録が楽にとれる**
 タッチパネルやハンディ端末を使って、PCが苦手な介護スタッフでも楽に介護記録を入力できます。
- 3 事務処理の軽減**
 書類作成のための二重入力と極力排除しているので、事務作業が軽減され、本来の介護サービス業務に集中できます。
- 4 スタッフ教育ができる**
 画期的な教育ツールである介護ナビゲート機能により、サービスレベルの向上、平準化が図れます。
- 5 スタッフ間での情報共有ができる**
 申し送りなどにより、スタッフ間での情報共有ができるので、連絡不足による介護中の事故防止に役立ちます。

経営・運営のメリット

- 1 経費・人件費の抑制**
 介護記録と請求データの連動、事務作業の軽減、二重入力の排除などによって、無駄な残業時間を抑制できる。事務専門スタッフの余剰雇用を排除。
- 2 医療連携・サービス向上**
 ASPの利点を生かし、提携病院や薬局などとの情報共有体制を構築できます。地域社会での介護医療ネットワークを実現できます。
- 3 人材確保・スタッフレベルの向上**
 教育ツールの観点を持った、介護ナビゲーション機能などによって、日々の業務の中でスタッフレベルの向上が図れます。
- 4 ケアプラン連携(無償提供)**
 ケアマネージャーに「CareOnline for Care manager」を無償提供しています。CareOnlineと合わせて利用することで大幅なシステムコストダウンが図れます。
- 5 情報一元化**
 インターネットを利用したASPサービスなので、全国の情報を一元管理できます。



外食業界では弊社のシステムを利用し、
1300拠点の情報一元化を実現しているお客様も
 いらっしゃいます

事業展開ビジョン ～業界への貢献～

介護業界の現状・問題点

課題解決・ソリューション

医療財源の赤字化

システム化されていない為、管理コストが増大している。
また、情報共有されていない為、無駄な工数が発生している。

財源

医療費の抑制が可能

事業者・利用者・スタッフ管理がネットワーク化することで、業務が合理化、特に業務作業が軽減し、より良いサービスを的確に提供できる。

経営難(利益の出しにくい事業)

介護事業は構造的に利益を出しにくい事業となっており、事業性の確保が難しい現状にある。

経営

数値分析帳票で経営基盤の精査

日々の売上を要介護度別や保険／保険外など、さまざまな角度から数値分析が可能になり、経営判断の指標となります。

地域連携における包括支援センターの破綻

地域連携の要となる包括支援センターだが、情報共有の手段が無く、各事業所との連携がスムーズにいかない。問い合わせ増大。
ケアマネージャーはケアプランの作成業務に追われている。

地域

ケアマネ、包括支援センターの 相談窓口業務の充実

ケアプラン情報の共有化をはじめとして、情報共有により、ケアマネージャーの本来の相談業務に集中でき、地域の介護ネットワークを構築できます。

人材不足(離職率の高さ)・スキル低下

介護業界の離職率は30%とも言われており、人材の確保・教育ができない。

教育

介護レベルの向上

ケア提供時の注意点などをナビゲーションすることで、日々の業務の中で教育・人材育成をサポートします

外国人ケアスタッフの雇用・要介護人口の増加

ケアのレベルが高く、会話もある程度できるが、漢字が書けないため介護記録を残せない。

人材

外国語版の介護記録

外国語版の選択式介護記録により、漢字が不得意な外国人ケアスタッフでも標準的な介護記録が残せます。

情報の共有化(地域ネットワークの構築)

介護業界全体での情報共有化ができていないため、地域での介護ネットワークを構築できず、情報を有効活用できない。

情報

災害時支援ネットワークを構築

被災地にいる要介護者の所在情報(自宅、仮設住宅、避難所などに何人いるのか)を各介護施設からCareOnline経由で収集。
行政の救援機関との連携を図り、適切な救援活動を支援します。

CareOnline 介護記録画面イメージ

The screenshot displays the CareOnline interface for recording nursing activities. It includes a calendar grid for the date 2006/11/01 (水) and a detailed care record form for the time 14:00. The interface is divided into several sections:

- Calendar Grid:** Shows a 24-hour grid with care activities recorded in colored boxes. Activities include '食事' (Meal), '口腔ケア' (Oral Care), '排泄' (Elimination), '入浴' (Bathing), '整容' (Grooming), 'アクリル' (Acrylic), '与薬' (Medication), 'バイタル' (Vitals), and '巡回' (Circulation).
- Care Record Form:** A detailed form for recording care activities, organized into columns for different body parts and functions:
 - 要介護者 (Nursing Care Required):** Includes 'ショート 請求一' (Short request 1) and 'ショート 請求二' (Short request 2).
 - 介護 (Nursing):** Activities like '排泄' (Elimination), '衣類着脱' (Dressing/Undressing), '環境整備' (Environment maintenance), '食事' (Meal), '水分' (Hydration), '口腔ケア' (Oral Care), '入浴' (Bathing), '整容' (Grooming), 'アクリル' (Acrylic), '臥床' (Bedridden), '体位交換' (Position change), '巡回' (Circulation), '与薬' (Medication), 'バイタル' (Vitals), '処置' (Treatment), '診療' (Medical treatment), '測定' (Measurement), 'ナースコール' (Nurse call), '行動観察' (Activity observation), and 'その他' (Others).
 - 看護 (Nursing Care):** Activities like '洗顔' (Washing face), '整髪' (Hair styling), '足爪切り' (Foot nail clipping), '手爪切り' (Hand nail clipping), '耳垢掃除' (Ear wax removal), '鼻' (Nose), '清拭' (Wiping), '顔色' (Complexion), '目' (Eyes), '鼻' (Nose), '頭皮頭髮' (Scalp/Hair), '耳・爪' (Ears/Nails), '状態コマ' (Status), '申し送り' (Handover), and 'ご機嫌' (Mood).
- Buttons:** Includes '削除' (Delete), 'コメント' (Comment), and '登録' (Register).

企業理念

社会にとって真に価値あるソリューションを

Universal
Solution Systems

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また、情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。

本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれら情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社のIR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

資料作成:2008年5月

